

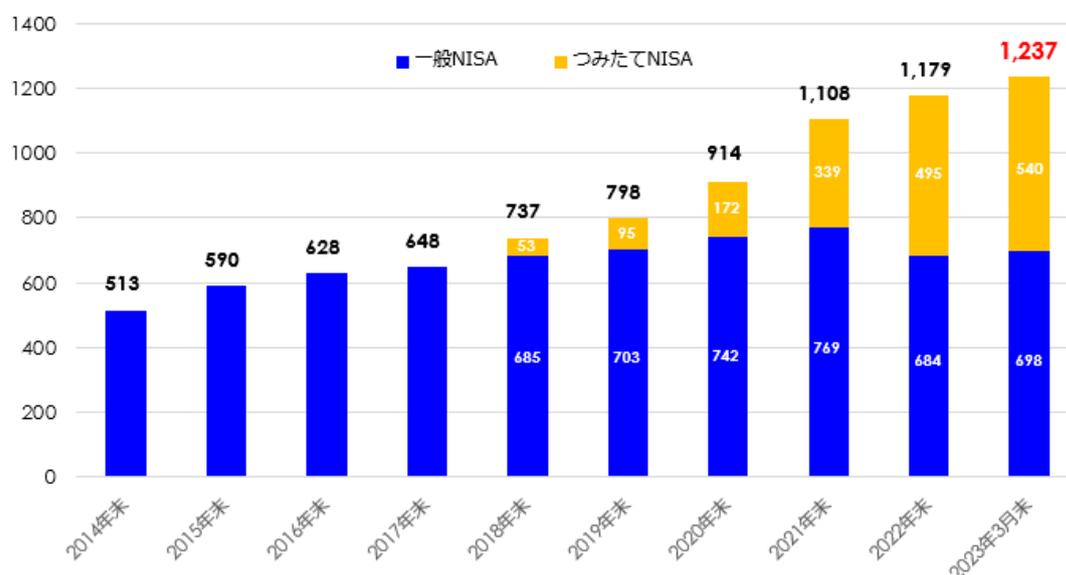
## 約 3,000 万人、日本の総人口の 1/4 がポイント運用ユーザー ポイント運用が個人投資家の間口を広げる！

ポイント運用という言葉（サービス）が生まれて7年、STOCK POINTがポイント運用サービスを開始してから6年、現在当社を含め複数の企業がポイント運用サービスを提供しており、そのユーザー数は延べ約3,000万人<sup>\*-1</sup>、単純計算で日本の総人口の約1/4が利用していることとなります。

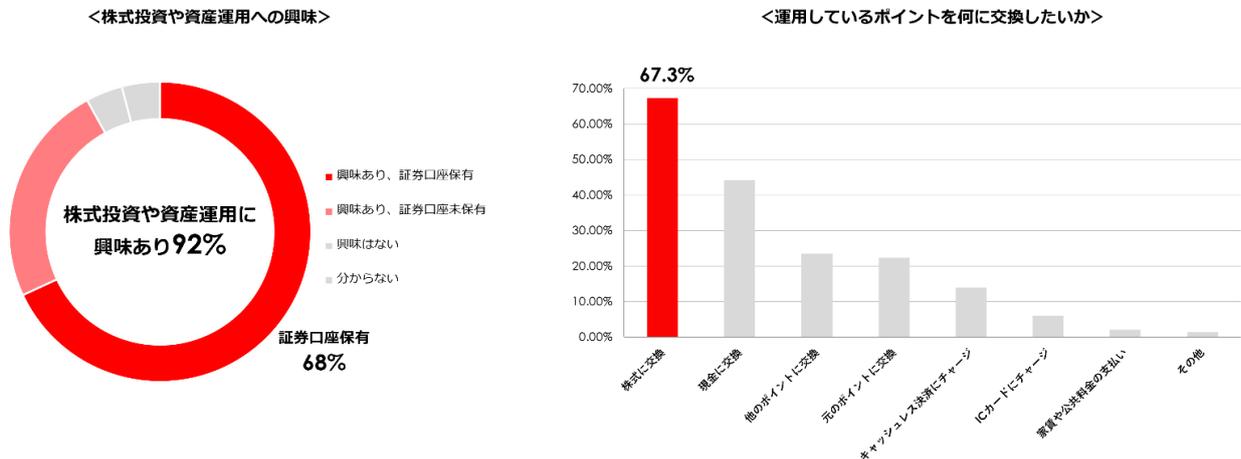
9月末現在、当社が運営するポイント運用サービス「StockPoint for CONNECT」と「StockPoint for CHEER 証券」の会員の内、約20%の人が提携している証券会社との口座連携を行っていることが分かっています。これは、ポイント運用が入り口となり、実際に株式投資を始めている人が増えていることを実証しています。

今日、10月4日は投資の日です。今年は、来年1月に開始する新NISAや、大手ネット証券2社の日本株式手数料無料というニュースで、いつになく賑わいを見せている証券業界ですが、2014年から開始された一般NISAと2018年から開始されたつみたてNISAの口座数も順調に伸び、2023年3月末のNISA総口座数は1,237万口座、そして、証券保管振替機構（ほふり）が公表している個人株主数<sup>\*-2</sup>は、現在1,496万人になるそうです。

### NISA総口座数の推移



当社が行った、StockPoint 会員アンケートによると、回答してくれた 1 万人超の会員の内、92%が「株式投資や資産運用に興味あり」と回答しており、その内の 68%が「証券口座を保有している」と回答。また、67%が運用したポイントを「株式に交換したい」と回答しています。



上記はあくまで当社の実績であり、延べ約 3,000 万人のポイント運用ユーザーに比例するものではありません。しかし現実の資本市場で変動する商品のボラティリティをポイントで実感することが、実際の投資に至る第一歩となっていることは間違いのない事実です。

キャッシュレス決済が進み、サービスの利用に応じてポイントが付与されることが一般的となった今、ポイントが“おまけ”から“資産”になろうとしている過渡期を迎え、キャッシュレス決済と実際の投資との結びつきは、今後も更に成長をしていくものと思われます。

STOCK POINT は、これからも「私たちの日常生活が、自然に投資につながる新しい社会の形」を創造していきます。

※-1：当社調べ（当社他、永久不滅ポイント運用、楽天 point club ポイント運用、PayPay ポイント運用、au PAY ポイント運用、d ポイント投資各社が公表している会員数を合算）

※-2：証券保管振替機構で公表している「2023 年 3 月～2023 年 8 月」における名寄せ後の個人株主数を抽出（2023 年 9 月 14 日更新）

## <会社概要>

STOCK POINT 株式会社

代表取締役社長：土屋清美

所在地：東京都港区六本木 1-4-5 アークヒルズサウスタワー16F

URL：<https://www.stockpoint.co.jp/>